



三和油化工業株式会社

東証スタンダード市場／名証メイン市場

証券コード：4125

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

2026年8月7日



2027年3月期 第1四半期 決算概要



2027年3月期 第1四半期累計

売上高

6,483百万円

【前年同期比】 +61.7% 

営業利益

691百万円

【前年同期比】 +210.1% 

営業利益率

10.7%

【前年同期比】 +5.1PT 

事業環境

- 原油ナフサ誘導品のサプライチェーンが大きく混乱し、新品・再生品問わず需要増加・価格上昇
- AI・データセンターなどの一部半導体業界は活況も、コモディティ・EVの市況感の回復は緩慢
- 資源調達不安やインフレによる原材料価格・エネルギー価格・人件費等の高騰によりコスト負担は高止まり

内部対応

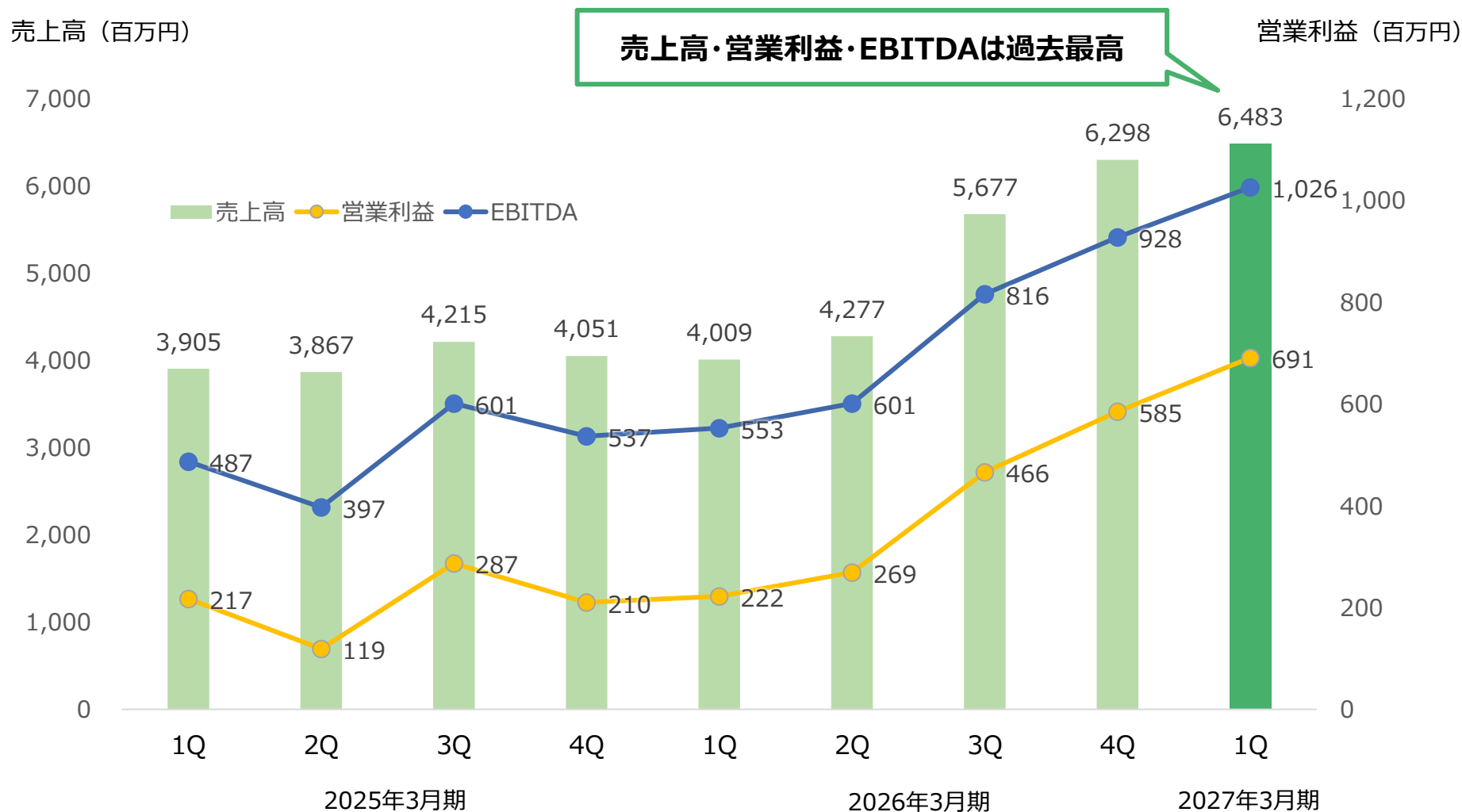
- 再生品・新品を含む溶剤および油剤の需要増に対し、生産・販売体制を強化し柔軟に対応
- 電池向けファインケミカル製品の需要増に応える原料調達および生産体制の強化
- 化学プラントの大型解体案件について、工事進行が円滑にすすむよう調整・手配

⇒原油・ナフサ由来の**石油化学製品の新液販売および再資源化需要に応え売上増加**
中期経営計画達成にむけた工場建設等の大型投資は計画通り進行中

- 2025年10月の企業結合により、**リユース事業は大きく伸長し、売上高は拡大**
- 粗利率が相対的に低い金属回収を拡大したことにより、**粗利率は低下するも粗利額は増加**

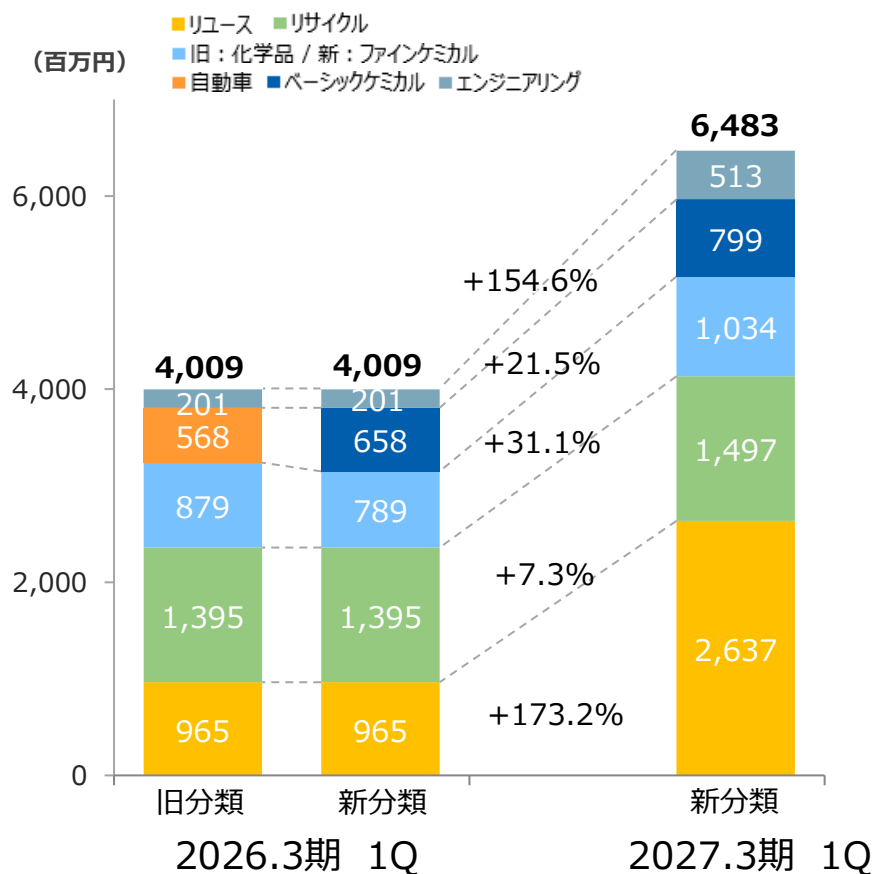
(単位：百万円)	2026年3月期 1Q累計		2027年3月期 1Q累計		前年同期比	
	実績	売上高比率	実績	売上高比率	増減額	前期比
売上高	4,009	100.0%	6,483	100.0%	+2,473	+61.7%
売上総利益	1,176	29.3%	1,786	27.5%	+609	+51.8%
営業利益	222	5.5%	691	10.7%	+468	+210.1%
経常利益	244	6.1%	694	10.7%	+449	+183.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	138	3.4%	435	6.7%	+297	+215.3%
EBITDA	553	13.8%	1,026	15.8%	+473	+85.5%

- 中東情勢緊迫化の影響により石化製品の単価が上昇し、**売上高・営業利益は過去最高**
- 継続的な**設備投資および好業績による営業利益増大によりEBITDAも過去最高**

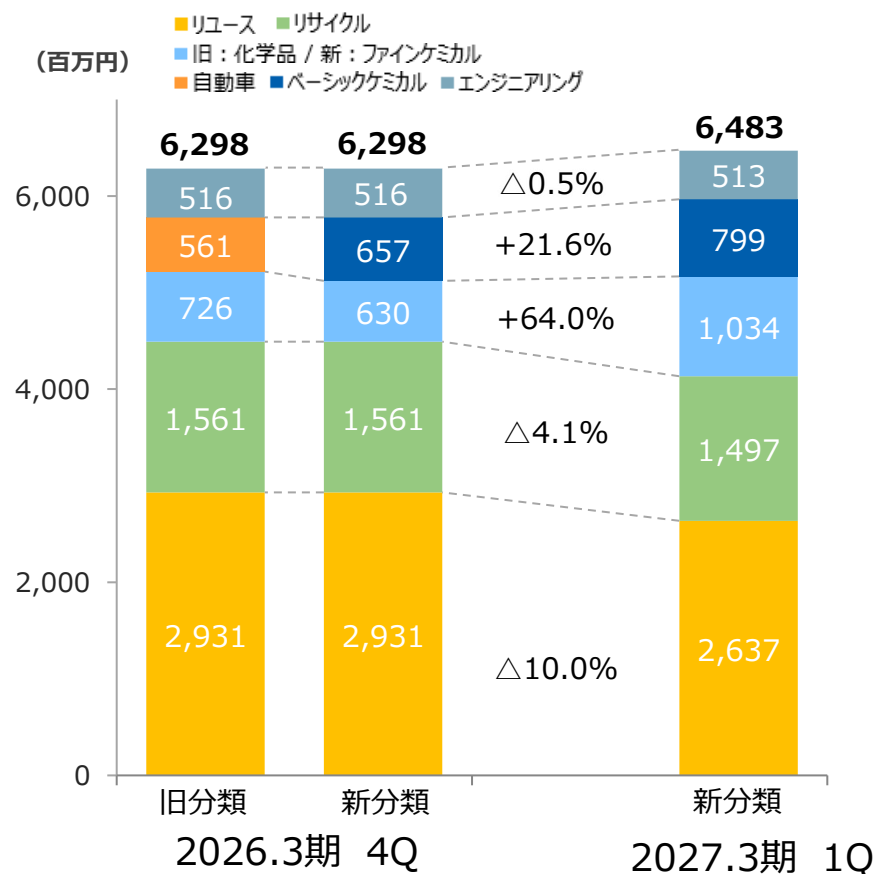


- リユース事業およびエンジニアリング事業の拡大等により売上高は大幅増（YoY）
- 金属相場下落によりリユースは減少したものの、ファインケミカルが復調し売上高を拡大（QoQ）

前年同期比（YoY）

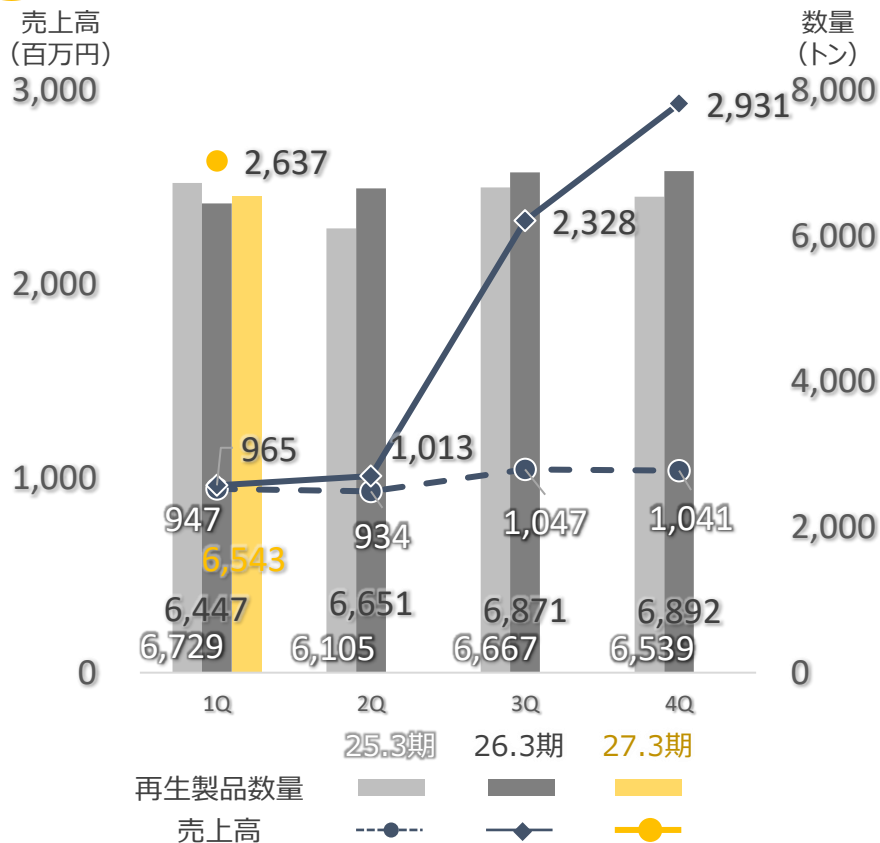


前四半期比（QoQ）





リユース事業

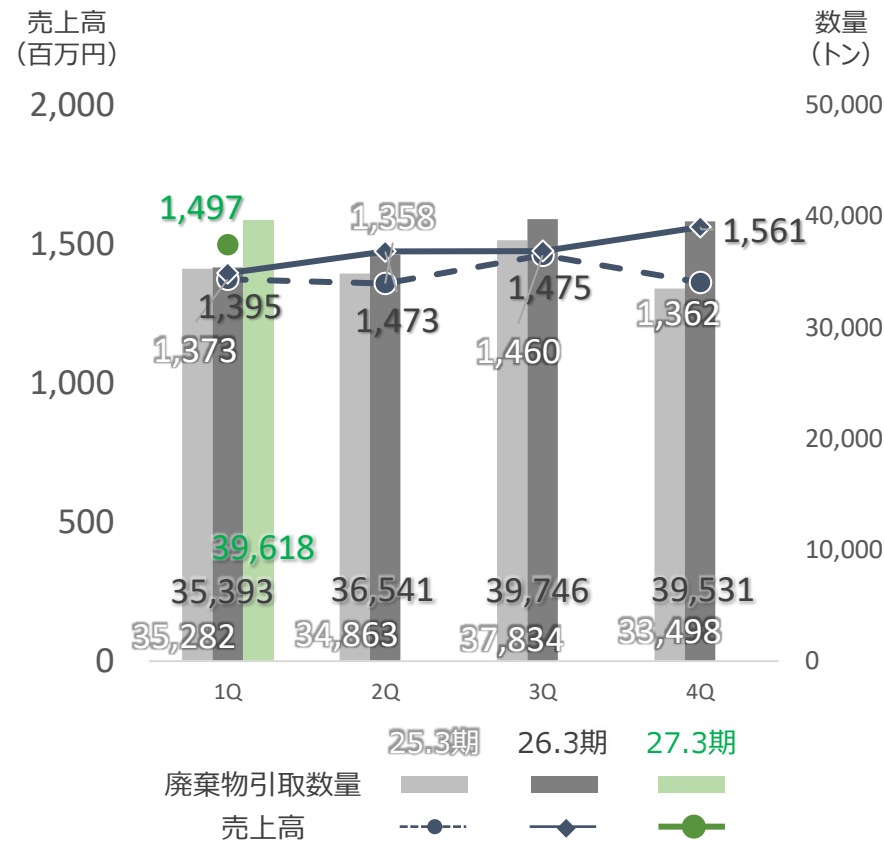


■ リユース事業売上と再生製品販売数量

- 溶剤再生製品は数量は減少したが単価上昇により売上拡大
- Inの価格上昇及び、金属再生数量増加により売上が大幅増



リサイクル事業



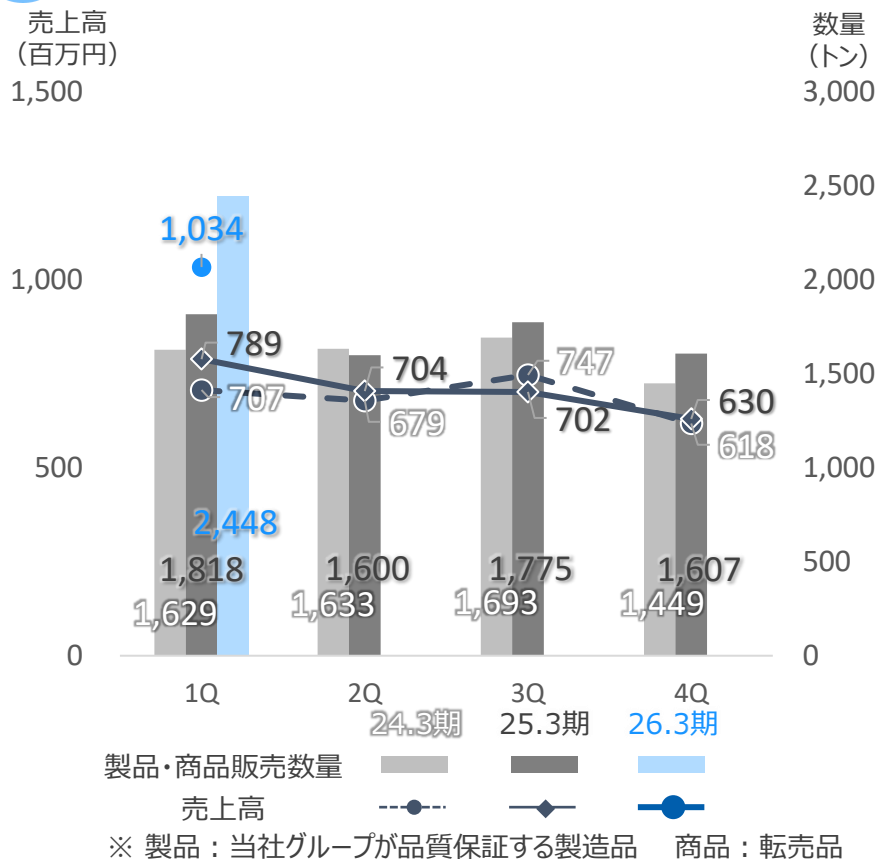
■ リサイクル事業売上と廃棄物引取数量

- 廃棄物由来燃料の引合増により再生燃料の販売は堅調
- 競争環境や市場環境の変化により処理物引取単価が弱含み

※グラフの数量は各事業別の全体数量ではなく、各事業売上と最も相関がある分類のみを選択しております



ファインケミカル事業

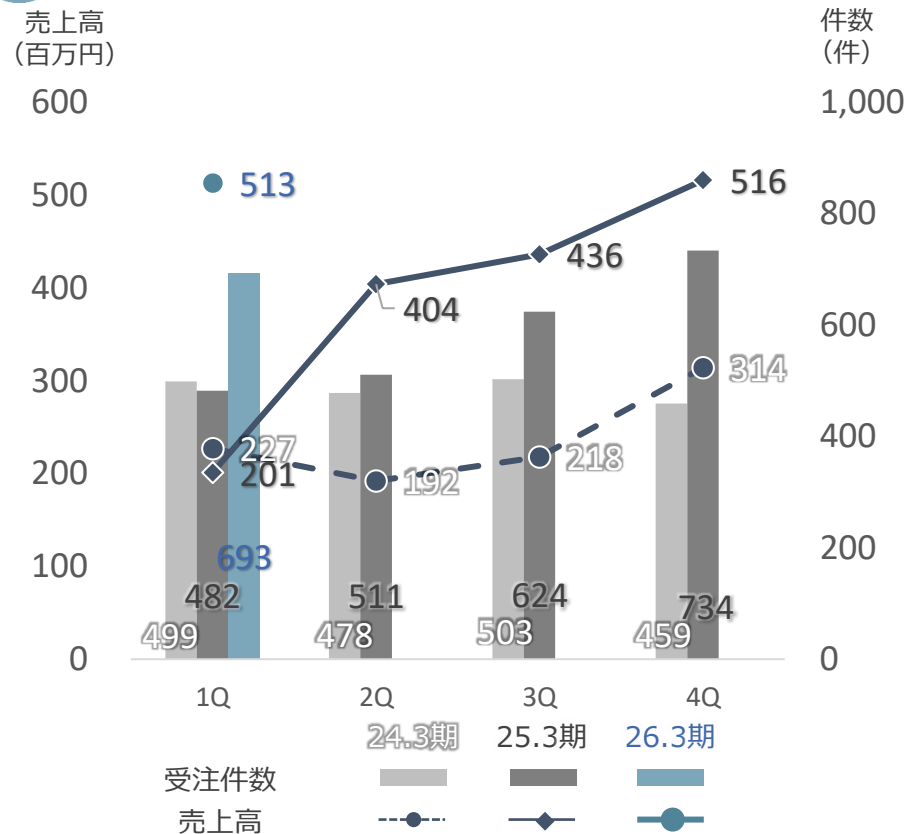


■ 化学品事業売上と製品・商品販売数量

- 半導体業界の業績回復等により、**高純度化学品販売は復調**
- 電池関連製品の受注回復により売上拡大



エンジニアリング事業



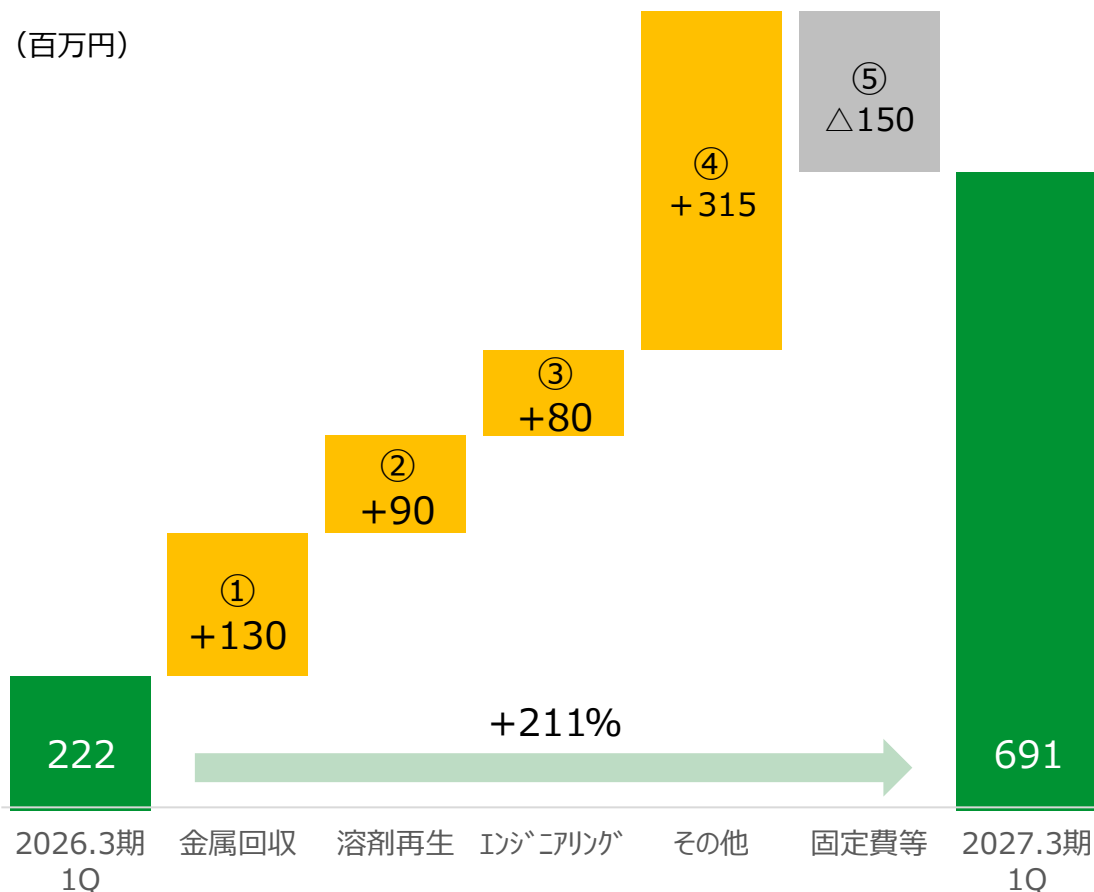
■ エンジニアリング事業売上と受注件数

- 大型解体工事案件が順調に進み、**前倒しで売上に寄与**
- 中小型の解体・作業案件の**獲得数が増加し売上拡大**

※グラフの数量は各事業別の全体数量ではなく、各事業売上と最も相関がある分類のみを選択しております

営業利益増減要因分析（前年同期比）

- 企業結合による金属回収の拡大および中東情勢の影響による再生溶剤の単価上昇等により利益拡大
- リサイクル事業での廃棄物収集量増やファインケミカル事業での販売拡大等により利益伸長



① 金属回収

- 〈+〉企業結合による事業拡大
- 〈-〉相場上昇による仕入金額増

② 溶剤再生

- 〈+〉中東情勢の影響を受け数量・単価共に上昇
- 〈-〉原料となる廃溶剤の単価上昇

③ インジニアリング

- 〈+〉大型作業案件の順調な進捗
- 〈+〉中小型の解体・作業案件数の増加

④ その他

- 〈+〉営業強化により廃棄物収集量が増加
- 〈+〉電池業界向けOEM製品の販売回復
- 〈+〉半導体業界向け高純度化学品の販売回復

⑤ 固定費等

- 〈-〉人員増・給与水準上昇による人件費増加
- 〈-〉設備投資による減価償却費の増加

〈+〉利益へプラス要因、〈-〉利益へマイナス要因

貸借対照表

(単位：百万円)	2026年3月期	2027年3月期1Q末	前期比 増減額	コメント
流動資産	7,794	9,529	+1,735	設備投資用に資金調達を行い、現預金が増加
固定資産	18,226	18,686	+460	保有する投資有価証券の評価額が増加
資産合計	26,020	28,215	+2,195	
流動負債	5,572	6,249	+677	運転資金調達により、短期借入金が増加
固定負債	6,970	8,001	+1,031	工場建設資金として、長期借入金等が増加
負債合計	12,542	14,251	+1,708	
純資産合計	13,477	13,964	+486	利益獲得により、利益剰余金が増加
負債・純資産合計	26,020	28,215	+2,195	



2027年3月期 業績予想



- 電池関連製品の需要増および大型解体案件の順調な進捗により、
ファインケミカル・エンジニアリング事業が計画を大きく上回り、売上・利益の上振れに寄与

		2027年3月期 業績予想				2027年3月期 実績		
		上期	下期	通期	構成比	1Q	構成比	進捗率
(単位：百万円)								
売上高	リユース	5,100	5,200	10,300	43.8%	2,637	40.7%	25.6%
	リサイクル	3,000	3,000	6,000	25.5%	1,497	23.1%	25.0%
	ファインケミカル	1,450	1,500	2,950	12.5%	1,034	16.0%	35.1%
	ベーシックケミカル	1,400	1,450	2,850	12.1%	799	12.3%	28.1%
	エンジニアリング	700	700	1,400	6.0%	513	7.9%	36.7%
売上高 計		11,650	11,850	23,500	100.0%	6,483	100.0%	27.6%
営業利益		800	900	1,700	7.2%	691	10.7%	40.7%
経常利益		760	860	1,620	6.9%	694	10.7%	42.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益		520	580	1,100	4.7%	435	6.7%	39.6%

■ 中期経営計画達成にむけた工場建設等の大型投資は計画通り進行中

成長産業の再資源化ニーズを取込

サンワマテリアルソリューションズ新工場（福岡県）

- 高まる再資源化ニーズを背景に、水平リサイクルや再生品の収率アップ等の、**より高度な分離・精製に対応できるよう技術開発**に積極投資

所在地 北九州市戸畑区（AGC株式会社 北九州事業所内）

稼働開始 2027年4月（予定）

建設費用 第1期工事として約80億円の設備投資
（補助金が最大約20億円）

売上計画 2027年度 約12億円
2030年度 約30億円

混合エマルジョン棟（建設中）▶

外観予想図



◀ 蒸留棟（建設中）

再資源化設備増設

混合エマルジョン化設備増設（愛知県）

- サステナビリティ意識の高まりによる**廃棄物由来燃料への旺盛な需要**をうけ、**再生燃料製造設備**を本社工場に増設

稼働開始 2027年度下期（予定）

投資額 約11億円

売上計画 2029年度 約6億円



既存混合エマルジョン化設備

レアメタル回収設備増設（和歌山県）

- 国内資源循環を推進するため、**工程端材からインジウムを回収**する設備を増設

稼働開始 2026年度下期（予定）

投資額 約1億円

売上計画 2027年度 約2.5億円



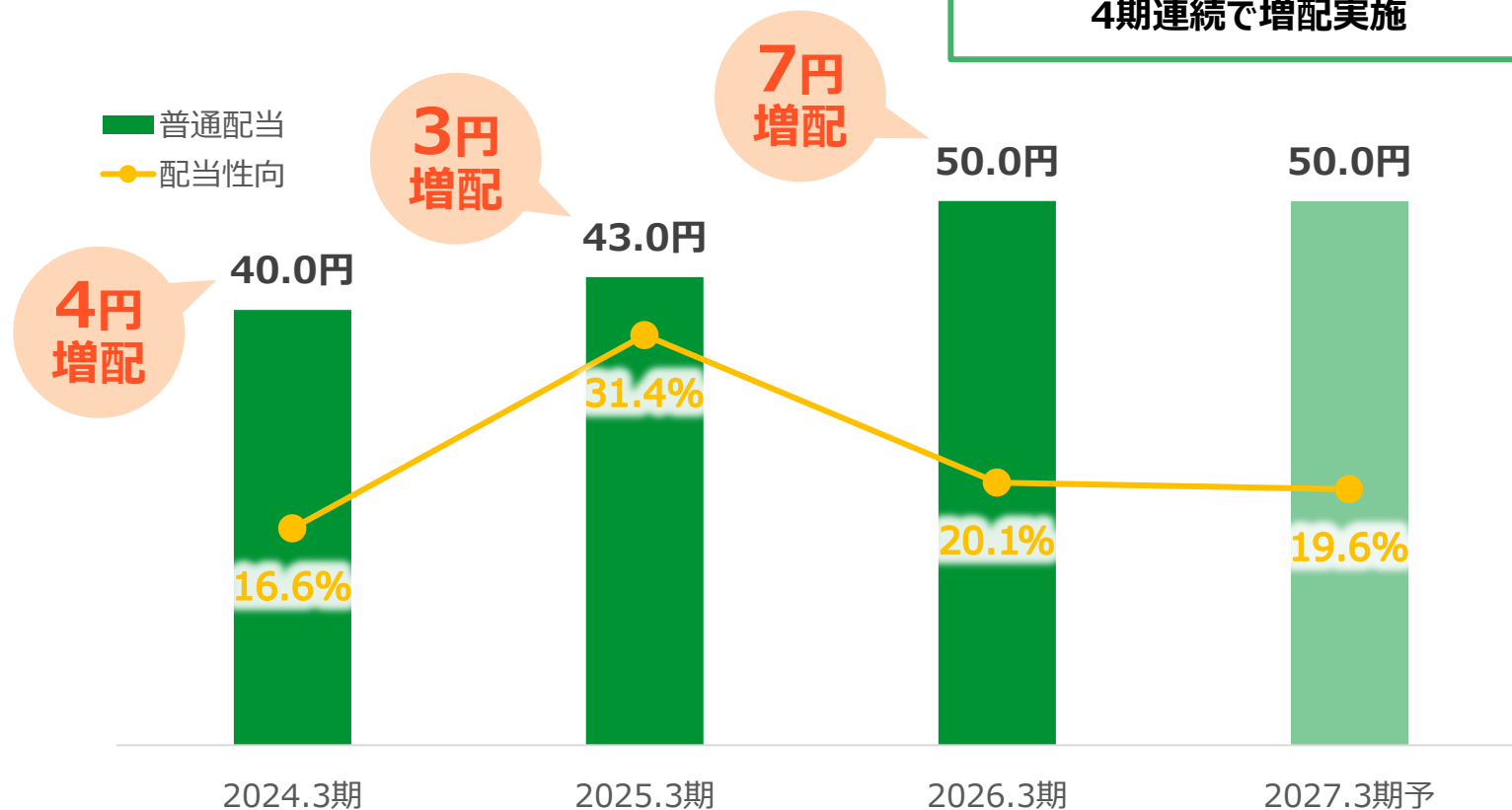
▲ 既存レアメタル回収設備

配当方針

今後の事業展開及び財務体質の充実等を勘案のうえ、
非減配を基本方針とし、安定的な配当を継続して実施していきます

1株あたり配当金・配当性向

上場（2022年3月期）来、
4期連続で増配実施





Appendix



事業分類の変更について

- ファインケミカル品を事業として独立させ、**エレクトロニクス業界向け製品等の販売を強化**
- 汎用化学品を自動車事業に含め、ベーシックケミカル事業に名称変更し、**機能材等の販売拡大**

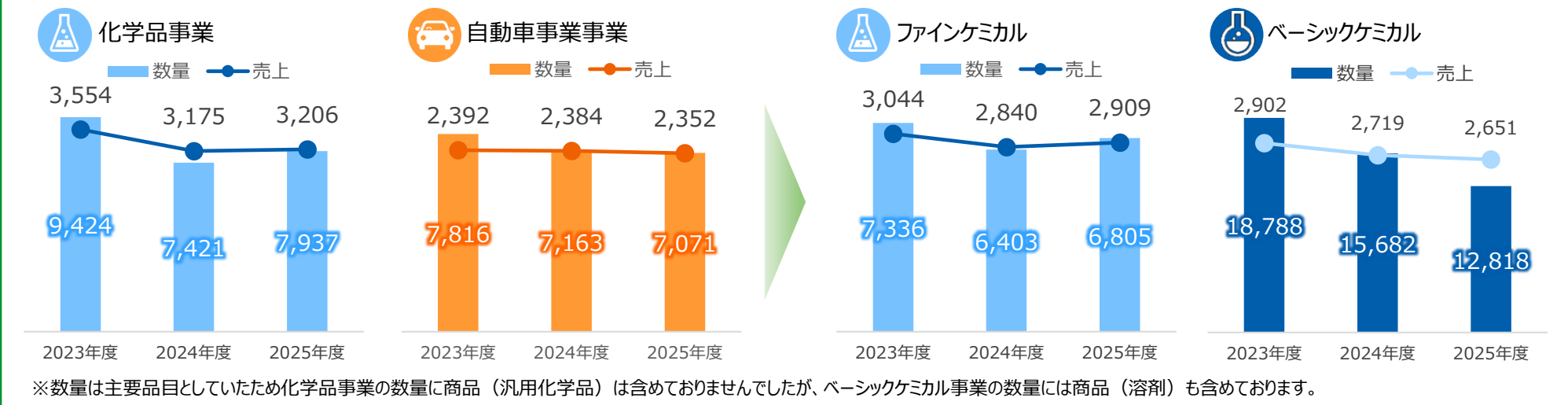
旧事業分類（～2025年度）

事業分類	主要品目
 化学品	製品（ファインケミカル）
	商品（ファインケミカル）
	製品（汎用化学品）
	商品（汎用化学品）
 自動車	製品（油剤・洗浄剤等）
	商品（油剤・洗浄剤等）

新事業分類（2026年度～）

事業分類	主要品目
 ファインケミカル	製品
	商品
 ベーシックケミカル	製品（溶剤）
	商品（溶剤）
	製品（油剤・洗浄剤等）
	商品（油剤・洗浄剤等）

直近3事業年度の売上高および販売数量



【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

三和油化工業株式会社

TEL 0566-35-3021（経営管理部）

URL <https://www.sanwayuka.co.jp/>

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。